

令和5年度 郷土の歴史と社会 シラバス

【単位数：2単位 履修年次：1～4年次（特別演習）】

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的な見方や考え方を培う。</p> <p>2 世界各地の地域性を多角的な視点から見ることや、日本・沖縄・生徒自身の生活との関連性を知ること、異文化理解を深める。</p> <p>3 現代の諸課題を地理的な考え方や多角的な視点で考察させることにより、国際社会に生きる公民としての自覚と資質を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>特になし 独自プリントで学習を行う</p> <p>参考資料：「これだけは知っておきたい 琉球・沖縄のこと」 沖縄時事出版</p>

2. 学習計画および評価方法等

(1) 学習計画など

学期	月	学習内容	学習のねらい
前期	4	オリエンテーション	
		琉球・沖縄の歴史	<p>沖縄の先史時代の生活や文化を、貝に注目しながら理解する。冊封関係を中心にして琉球と中国との関係を理解する。薩摩藩の琉球侵略以後、琉球の政治・社会がどのように変わったかを理解する。</p>
		○先史時代	
		○古琉球	
	5	○近世琉球	<p>沖縄県が設置され、近代的な社会へ変化したことを理解する。また、沖縄戦について学習し、平和を大切にする心を涵養する。そして、米軍の沖縄統治の方法を知ることから、人権を尊重することの重要性を理解する。</p>
		○近代沖縄	
		○戦後沖縄	
	6	琉球芸能	<p>琉球芸能や伝統的な文化・行事を学ぶことで、沖縄の文化を理解する。</p>
		琉球と沖縄の伝統文化	
	琉球と沖縄の伝統行事		
	沖縄の世界遺産		
		琉球・沖縄の人物	
		琉球・沖縄の歴史書と文学作品	
7	沖縄言葉	<p>沖縄の地理や自然を学ぶことで、沖縄の地理的状況を理解し、自然を大事にする心を涵養する。</p>	
	沖縄の地名・人名		
	沖縄の地理		
	沖縄の自然		
8	沖縄の重要な出来事と記念日	<p>沖縄の記念日や食文化を学ぶことで、沖縄の年中行事を理解する。</p>	
9	沖縄の食文化		

前期		現代の沖縄社会 沖縄の観光 現代・沖縄の流れ	現在の沖縄の課題を歴史的にとらえ、これからの沖縄にどのように生かせるかを考える。
【課題・提出物等】			
1 授業ごとのプリント提出 2 夏休み等、必要に応じて課題を提出させる場合もある。			
【前記の評価方法】			
1 中間・期末考査の成績、プリントの提出物、および授業への参加意欲や態度で評価する。 2 定期考査6割程度、提出物・授業態度など4割の配分で評価を行う。			
後期	10	人ものがたり 古琉球 ○察度 ○尚巴志 ○尚泰久 ○阿麻和利 ○尚円	古琉球の頃に活躍した先人の伝記を学ぶことで、琉球王国の統一過程やその時代に花開いた琉球独自の文化について理解し、現在にも継承される文化に親しむ。 近世の琉球の頃に活躍した先人の伝記を学ぶことで、薩摩藩の琉球侵略以後、琉球の政治・社会がどのように変わったかを理解する。
	11	○尚真と世添御殿 ○オヤケアカハチ ○仲宗根豊見親玄雅 ○謝名利山	
	12	近世の琉球 ○儀間真常 ○自了 ○羽地朝秀 ○吉屋チルー・恩納ナビー ○魏士哲 ○湛水親方 ○程順則	
	1	○蔡温 ○玉城朝薫 ○知念績高 ○飛び安里 ○牧志朝忠 ○林世功 ○大湾朝功	
	2	近代の沖縄 ○謝花昇 ○當山久三 ○城間正安 ○大田朝敷 ○山之口獏 ○伊波普猷 ○久志美沙子 ○宮良長包 ○屋部憲通・憲伝 ○新垣弓太郎	近代の沖縄の頃に活躍した先人の伝記を学ぶことで、沖縄県が設置されて近代的な社会へ変化したことを理解する。また、日本による近代化政策や十五年戦争に翻弄されながらも、たくましく生きる沖縄の人々の強さを伝える。
後期		○船越義珍 ○玉城盛重 ○田場盛義 ○仲原善忠・善秀 戦後の沖縄 ○志喜屋孝信 ○城間栄喜	
			戦後の沖縄の先人の伝記を学ぶことで、現在の沖縄の課題を歴史的にとらえ、これからの沖縄にどのように生かせるかを考える。

3	<input type="radio"/> 山田真山 <input type="radio"/> 仲宗根政善 <input type="radio"/> 瀬長亀次郎 <input type="radio"/> 大浜信泉 <input type="radio"/> 金城哲夫 <input type="radio"/> 金城次郎 <input type="radio"/> 與那嶺貞 <input type="radio"/> 阿波根昌鴻 <input type="radio"/> 屋良朝苗
---	---

【課題・提出物等】

- 1 授業ごとのプリント提出
- 2 冬休み等、必要に応じて課題を提出させる場合もある。

【前記の評価方法】

- 1 中間・期末考査の成績、プリントの提出物、および授業への参加意欲や態度で評価する。
- 2 定期考査6割程度、提出物・授業態度など4割の配分で評価を行う。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一生懸命最後までやろうと努力する意欲や態度がみられるか ・ 沖縄の歴史に対する関心を高めているか。 ・ 意欲的に課題を追求するとともに、学習を通じて、市民としての責任を果たそうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での態度 ・ 授業で使用するプリント
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の歴史に関する基本的な事項と自分自身の在り方・生き方を関連づけて主体的に理解し、その知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期中間考査 ・ 前期期末考査 ・ 後期中間考査 ・ 後期期末考査